

匝瑳市子ども・子育てに関するアンケート調査報告(速報版)

I 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、令和7年度を初年度とする「第3次匝瑳市子ども・子育て支援事業計画」の策定に向けて、市民の教育・保育のサービスの利用意向や子育て支援に関する意見などを把握し、計画策定の基礎資料とすることを目的として実施しました。

2 調査の方法

調査対象	市内に在住する小学校入学前（0～5歳）のいる世帯と小学校1年生～6年生のいる世帯
抽出方法	住民基本台帳から無作為抽出
調査方法	郵送による調査票の送付、郵送及びインターネット回答による回収
調査期間	令和5年12月25日（月）～令和6年1月21日（日）

3 回収結果

区分	調査票配布数	有効回収数	有効回収率
小学校入学前（0～5歳）	500件	197件	39.4%（43.4%）
小学校1年生～6年生	500件	214件	42.8%（39.4%）
合計	1,000件	411件	41.1%（41.4%）

※令和6年2月7日時点、回収率の（ ）は前回調査の値。

4 報告書の見方

- ・本報告書では、回答すべきところが回答されていないものは「無回答」として扱います。
- ・本報告書では、回答する必要のないところ及び回答すべきでないところを回答している場合は「非該当」として扱います。
- ・設問の構成比は、回答者数（該当設問での該当者数）を基数として百分率（%）で示しています。したがって、非該当者数は、構成比に含まれません。
- ・図中のn（number of case）は、設問に対する回答者数のことです。
- ・比率はすべて百分率（%）で表し、小数点以下第2位を四捨五入し算出しているため合計が100%にならない場合があります。
- ・複数回答については、回答者数を基数として百分率（%）で示しています。したがって、合計値は100%にならない場合があります。

Ⅱ 調査結果（抜粋）

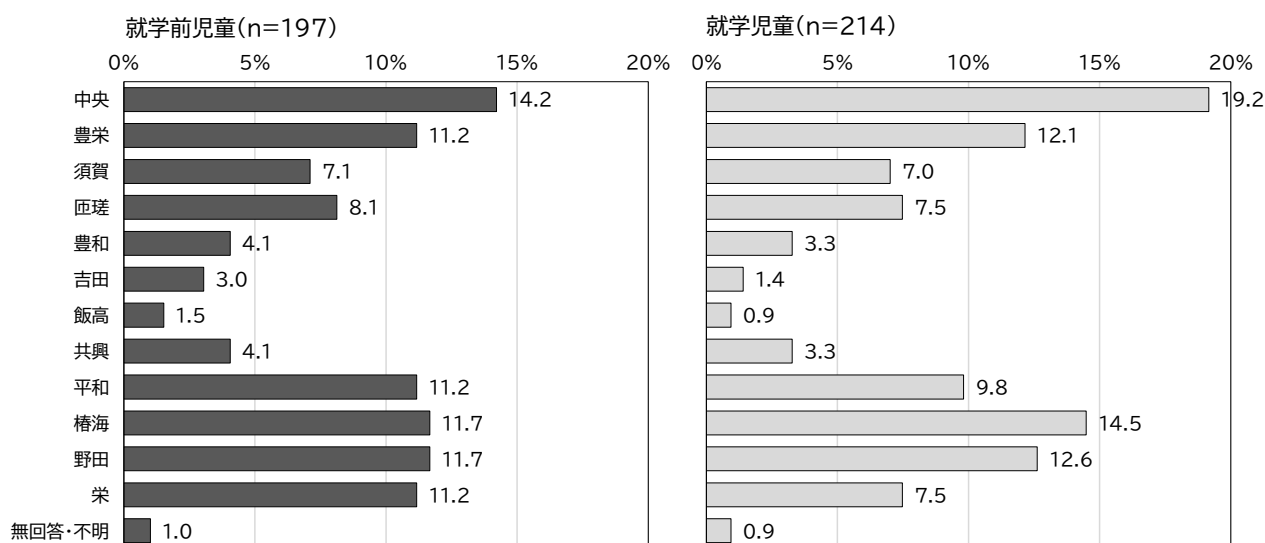
※現在、数量等を集計中。

1 居住地区について

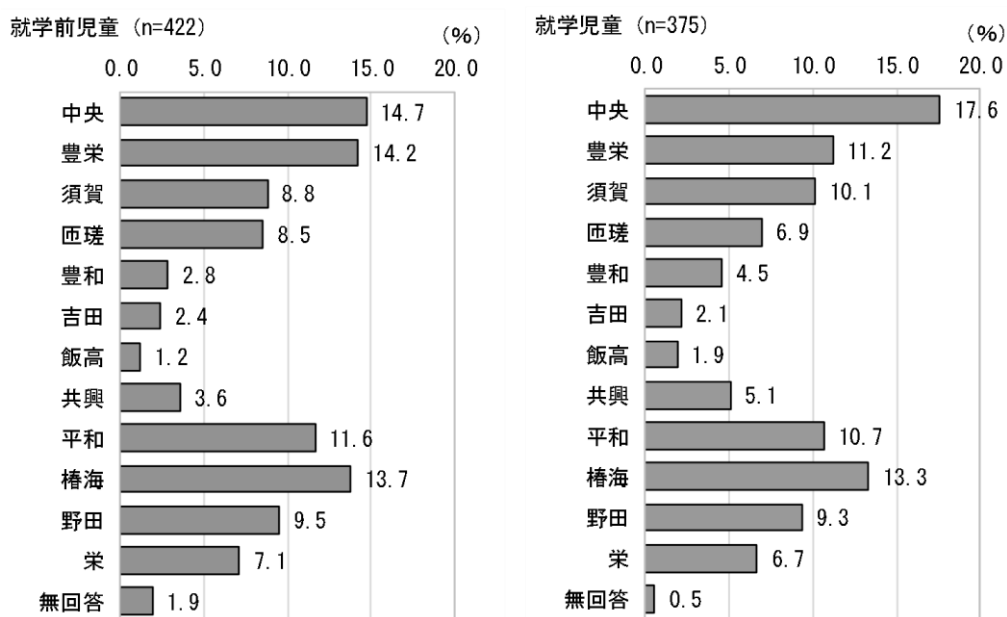
〔就学前児童（0～5歳）：問1、就学児童（小学校1年生～6年生）：問1〕

お住まいの地区についてお答えください。

居住地区は、就学前児童では「中央」が最も多く 14.2%、次いで「椿海」「野田」が 11.7%、「豊栄」「平和」「栄」が 11.2%、就学児童では「中央」が最も多く 19.2%、次いで「椿海」が 14.5%、「野田」が 12.6%となっています。



【前回】



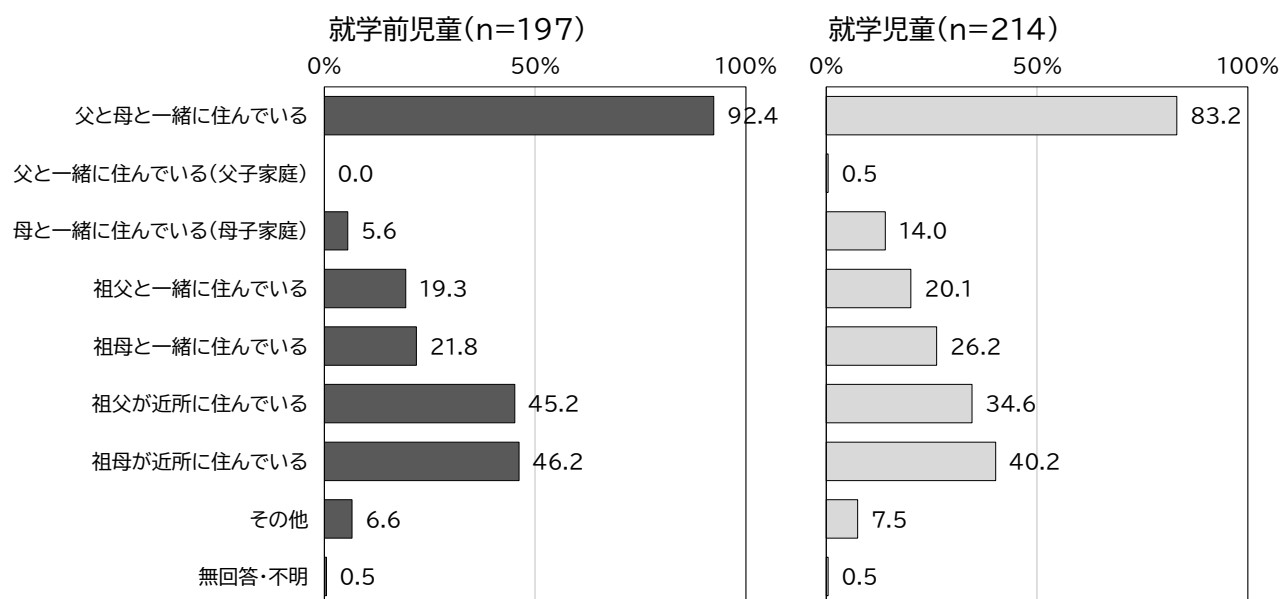
2 子どもの育ちをめぐる環境について

〔就学前児童（0～5歳）：問7、就学児童（小学校1年生～6年生）：問5〕

お子さんが一緒に住んでいる人はどなたですか。

また、近所に祖父母が住んでいますか。

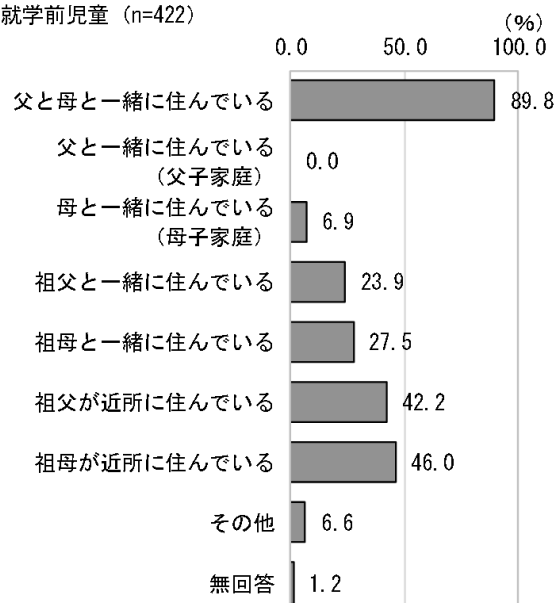
子どもと一緒に住んでいる人は、就学前児童では「父と母と一緒に住んでいる」が最も多く 92.4%、次いで「祖母が近所に住んでいる」が 46.2%、「祖父が近所に住んでいる」が 45.2%、就学児童では「父と母と一緒に住んでいる」が最も多く 83.2%、次いで「祖母が近所に住んでいる」が 40.2%、「祖父が近所に住んでいる」が 34.6%となっています。



【前回】

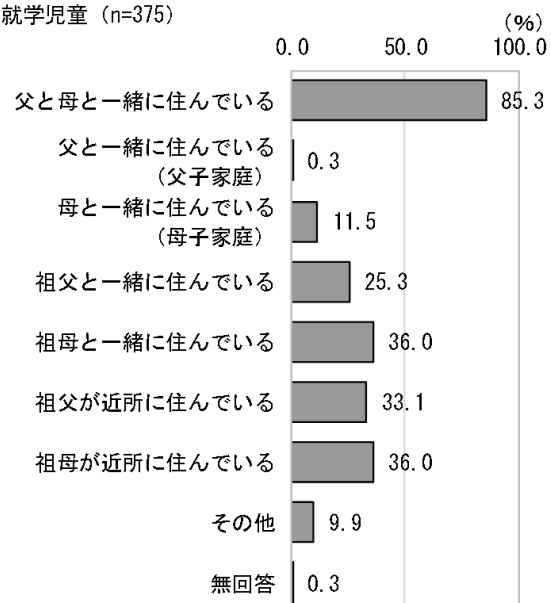
〈複数回答〉

就学前児童 (n=422)



〈複数回答〉

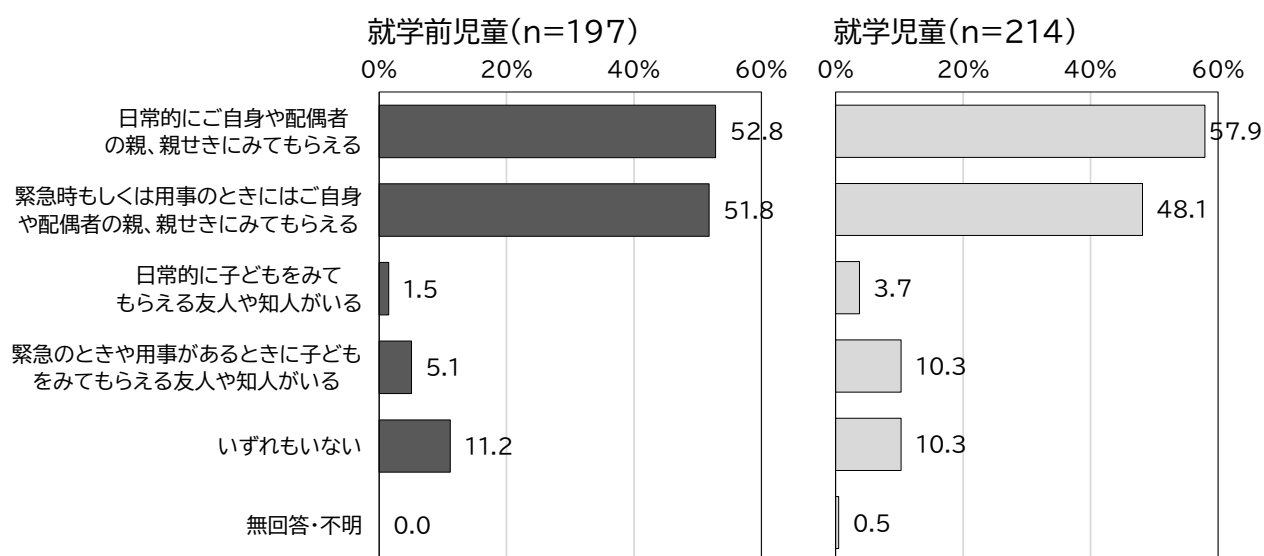
就学児童 (n=375)



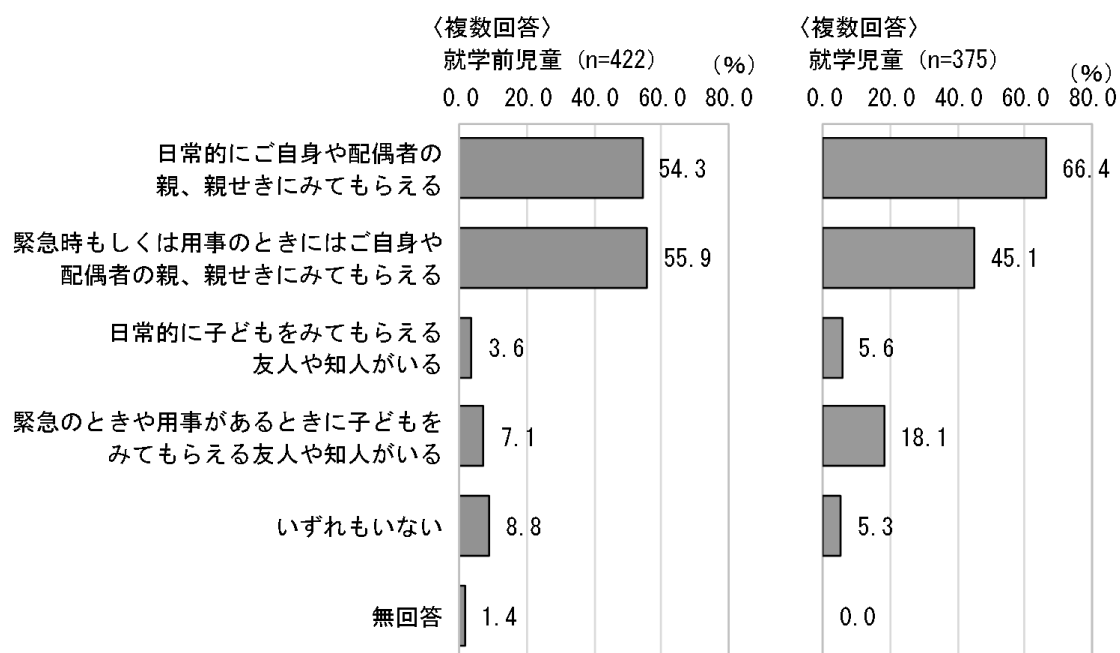
〔就学前児童（0～5歳）：問9、就学児童（小学校1年生～6年生）：問7〕

日頃、お子さんの世話をしてくれる人はいますか。

日頃、子どもの世話をしてくれる人は、就学前児童では「日常にご自身や配偶者の親、親せきにみてもらえる」が最も多く 52.8%、次いで「緊急時もしくは用事のときにはご自身や配偶者の親、親せきにみてもらえる」が 51.8%、「いずれもない」が 11.2%、就学児童では「日常にご自身や配偶者の親、親せきにみてもらえる」が最も多く 57.9%、次いで「緊急時もしくは用事のときにはご自身や配偶者の親、親せきにみてもらえる」が 48.1%、「緊急のときや用事があるときに子どもをみてもらえる友人や知人がいる」「いずれもない」がそれぞれ 10.3%となっています。



【前回】



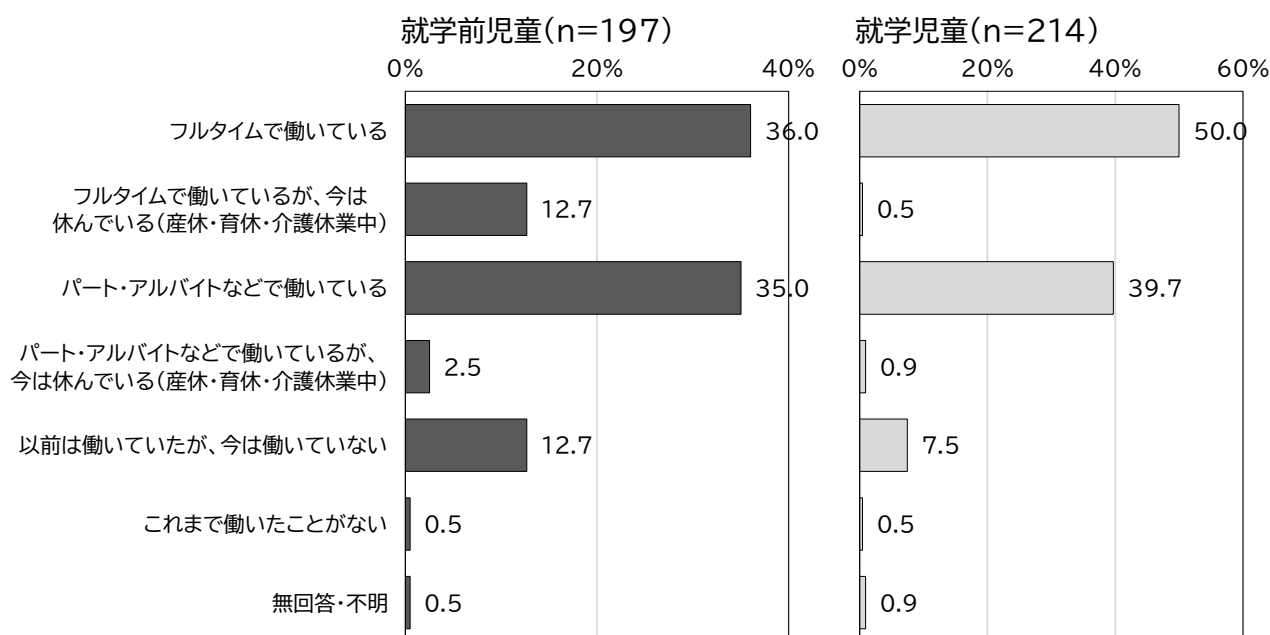
3 保護者（父親・母親）の方の就労状況について

（１）母親の就労状況

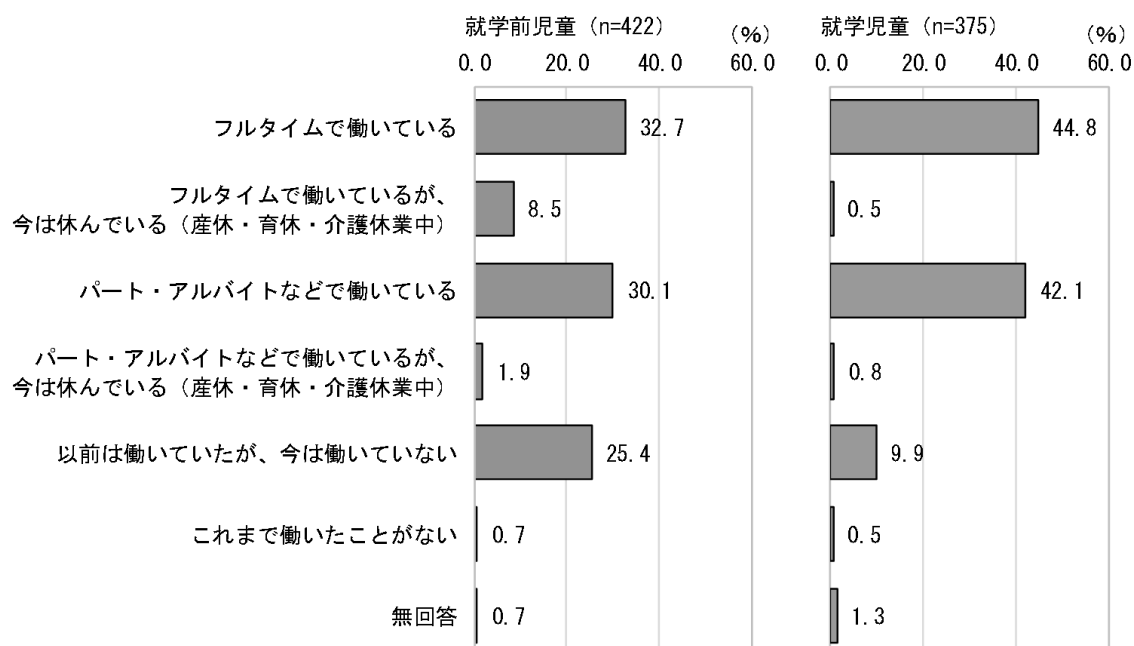
〔就学前児童（０～５歳）：問 11、就学児童（小学校１年生～６年生）：問 9〕

お子さんの「母親」の働いている状況についておうかがいします。（父子家庭は除く）

母親の就労状況は、就学前児童では「フルタイムで働いている」が最も多く 36.0%、次いで「パート・アルバイトなどで働いている」が 35.0%、「以前は働いていたが、今は働いていない」が 12.7%、就学児童では「フルタイムで働いている」が最も多く 50.0%、次いで「パート・アルバイトなどで働いている」が 39.7%、「以前は働いていたが、今は働いていない」が 7.5%となっています。



【前回】

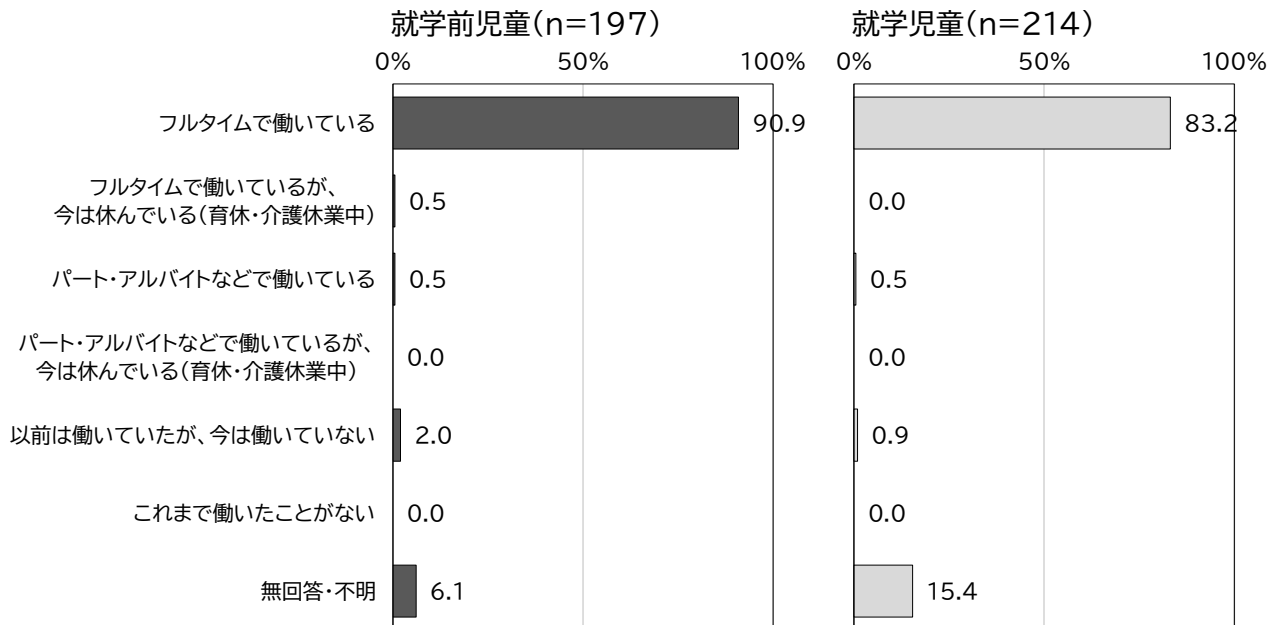


(2) 父親の就労状況

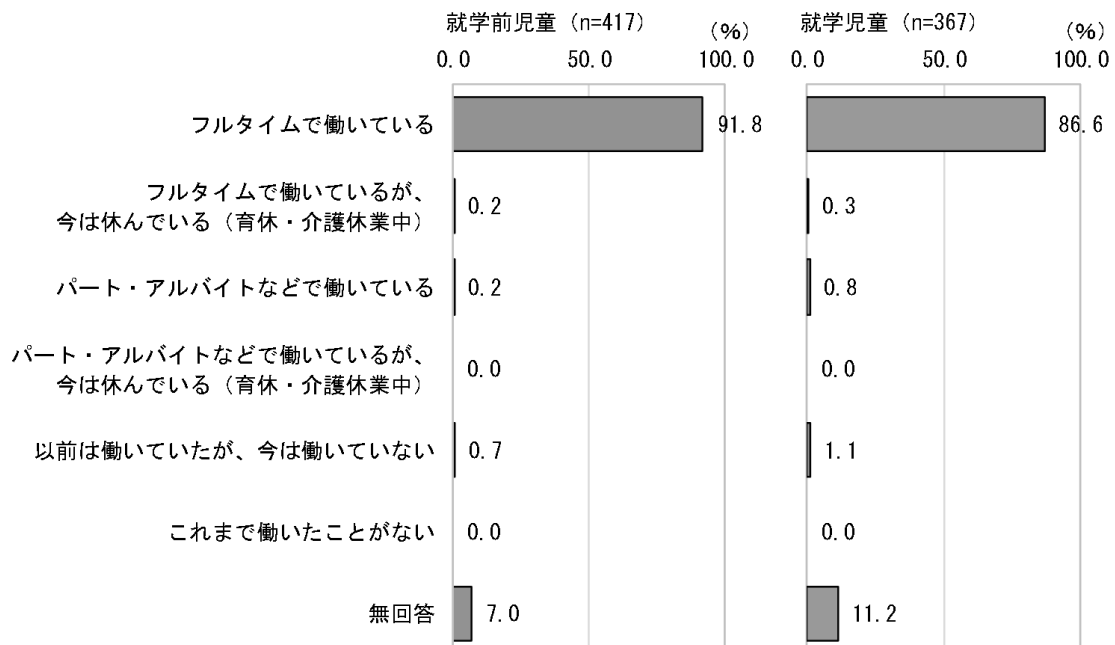
[就学前児童（0～5歳）：問12、就学児童（小学校1年生～6年生）：問10]

お子さんの「父親」の働いている状況についておうかがいします。（母子家庭は除く）

父親の就労状況は、就学前児童では「フルタイムで働いている」が最も多く 90.9%、就学児童では「フルタイムで働いている」が最も多く 83.2%となっています。



【前回】

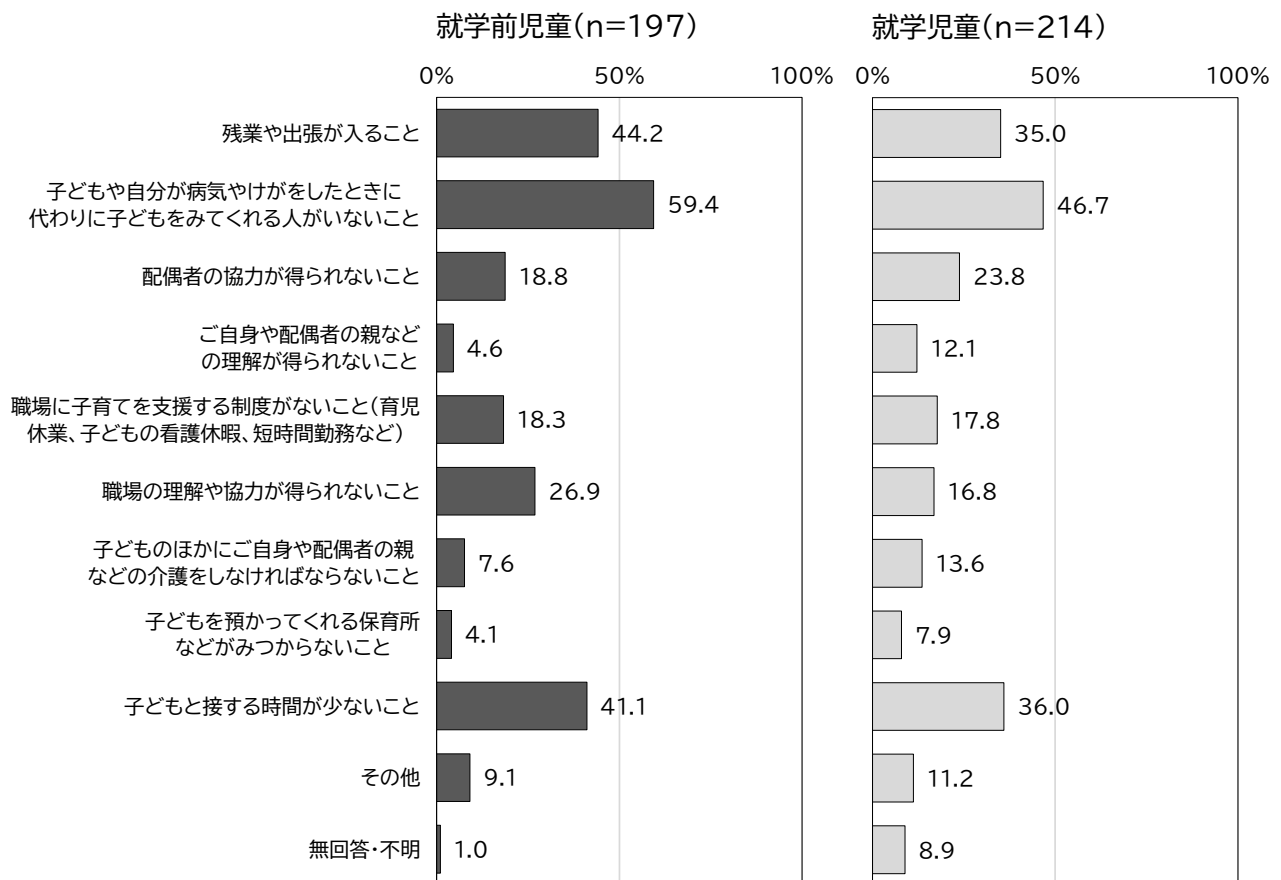


4 仕事と子育ての両立について

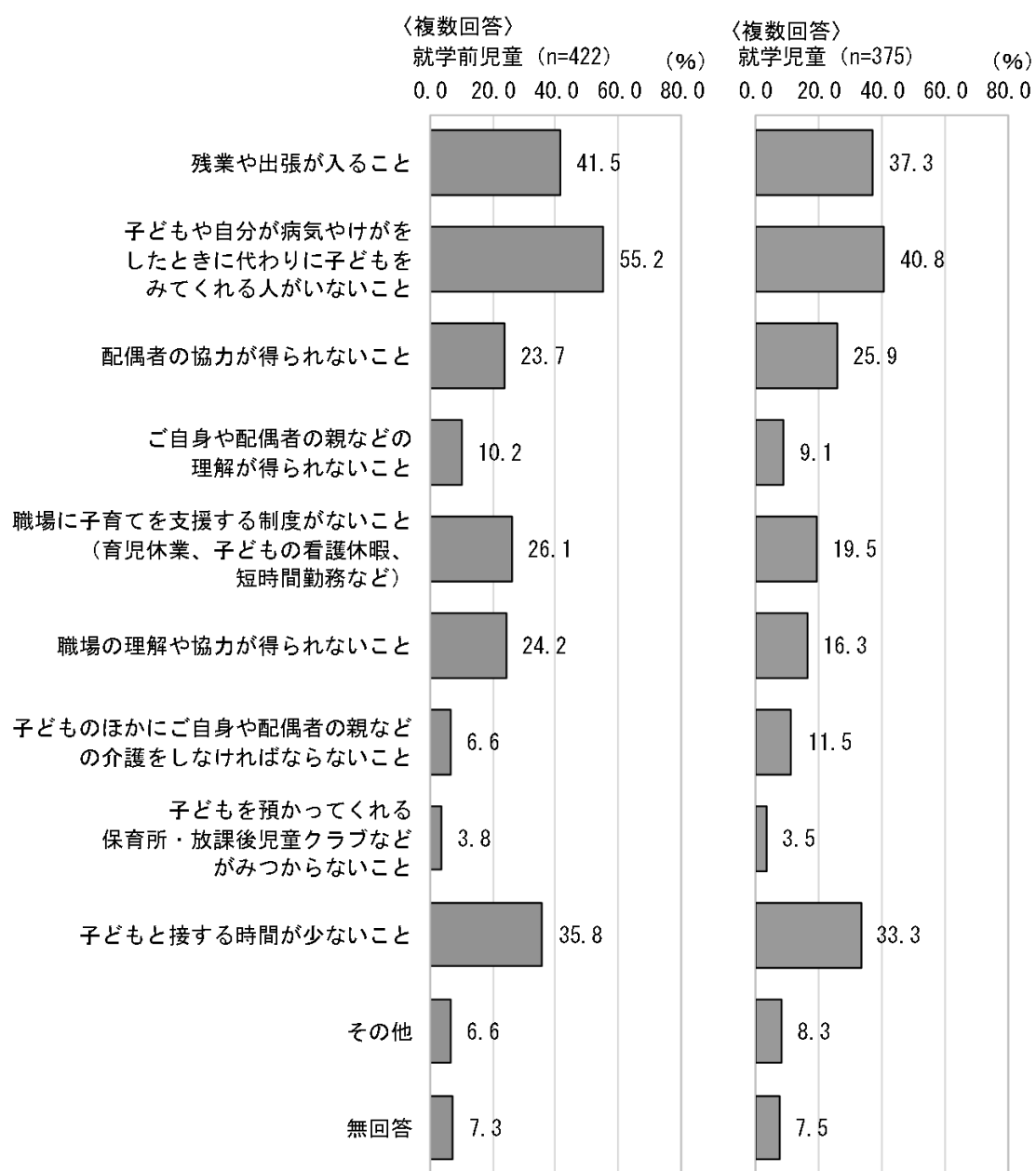
〔就学前児童（0～5歳）：問16、就学児童（小学校1年生～6年生）：問13〕

仕事と子育てを両立させる上での課題と思うことは何ですか。

仕事と子育てを両立させる上での課題は、就学前児童では「子どもや自分が病気やけがをしたときに代わりに子どもをみてくれる人がいないこと」が最も多く 59.4%、次いで「残業や出張が入ること」が 44.2%、「子どもと接する時間が少ないこと」が 41.1%、就学児童では「子どもや自分が病気やけがをしたときに代わりに子どもをみてくれる人がいないこと」が最も多く 46.7%、次いで「子どもと接する時間が少ないこと」が 36.0%、が「残業や出張が入ること」 35.0%となっています。



【前回】

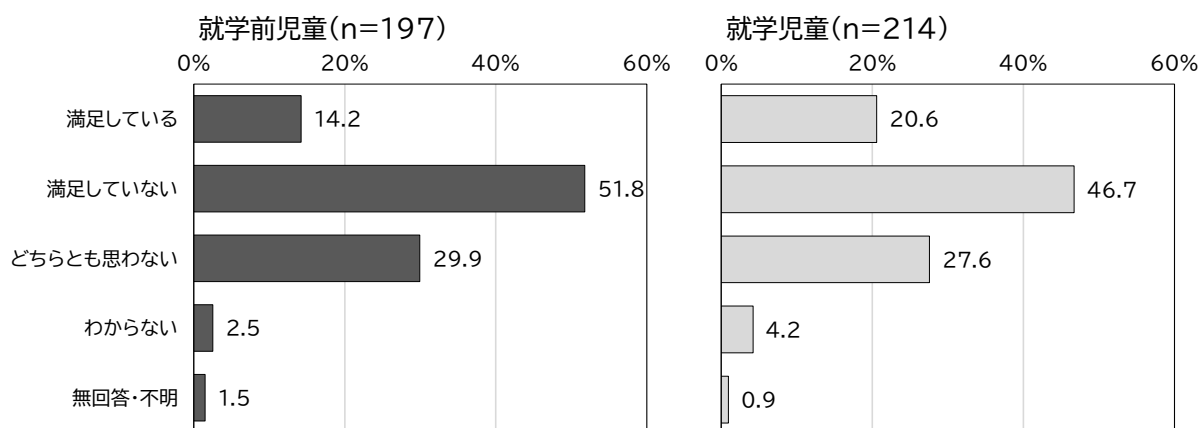


5 子育てを支援する生活環境の整備や子どもの安全の確保について

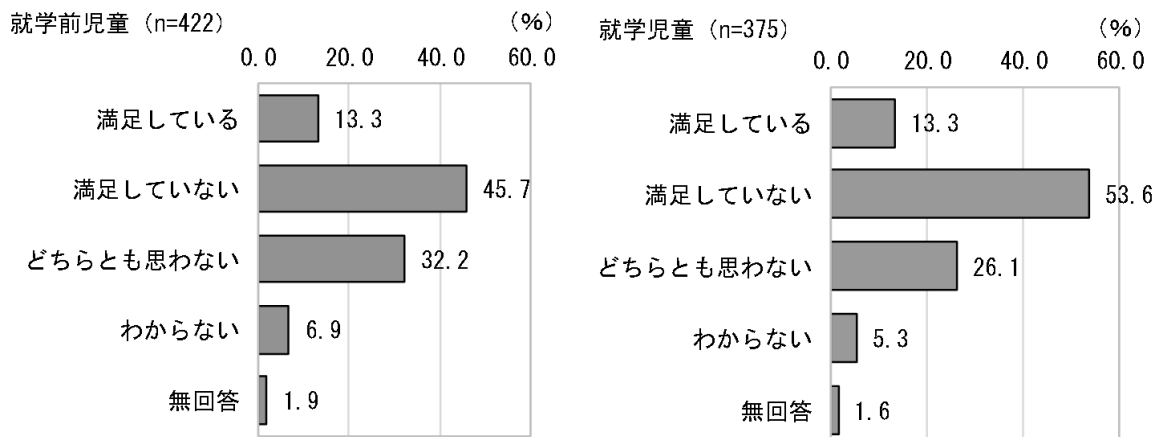
〔就学前児童（0～5歳）：問 31、就学児童（小学校1年生～6年生）：問 23〕

お住まいの地域における子どもの遊び場に関して満足していますか。

住まいの地域における子どもの遊び場の満足度は、就学前児童では「満足していない」が最も多く 51.8%、次いで「どちらとも思わない」が 29.9%、「満足している」が 14.2%、就学児童では「満足していない」が最も多く 46.7%、次いで「どちらとも思わない」が 27.6%、「満足している」が 20.6%となっています。



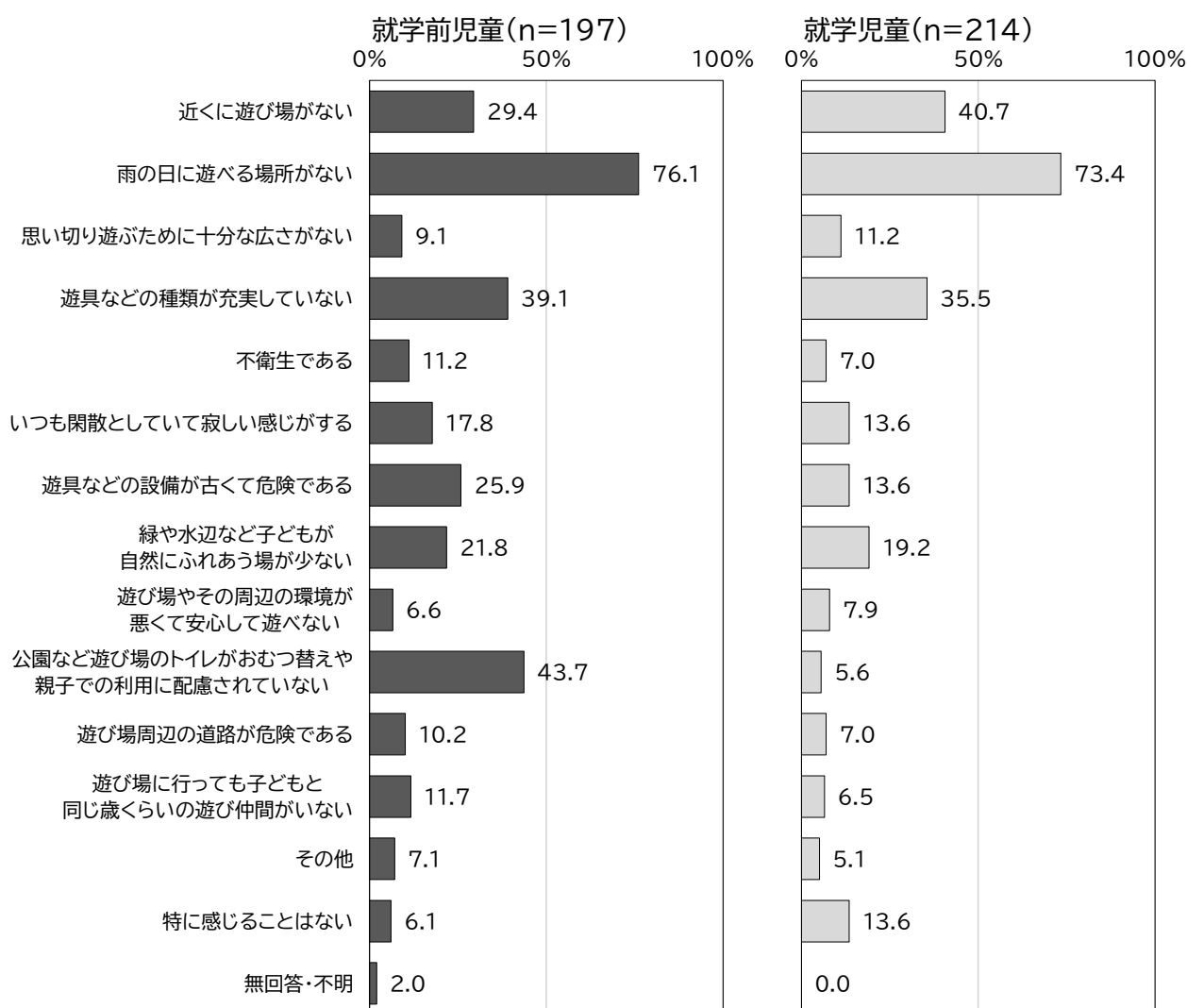
【前回】



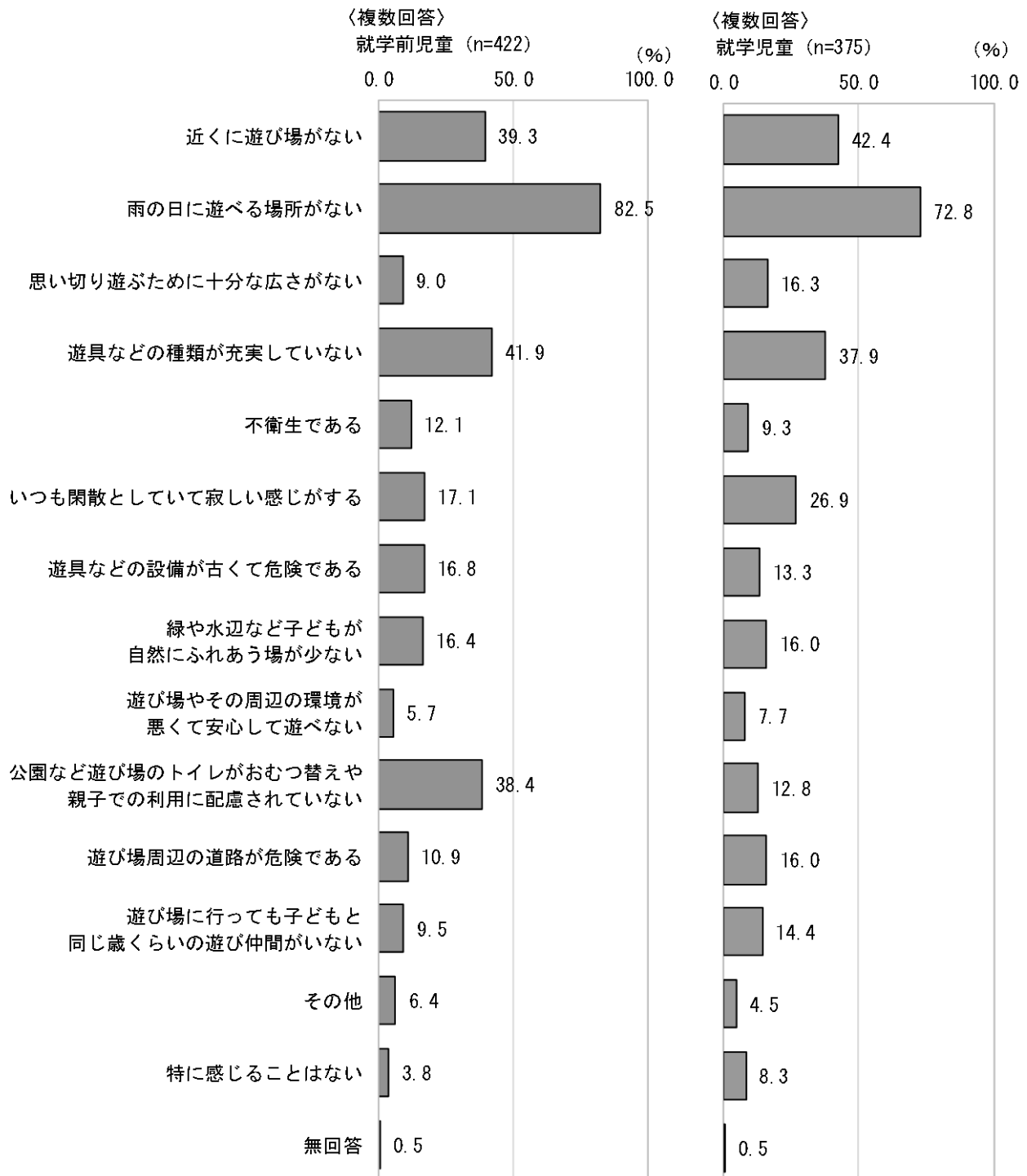
〔就学前児童（0～5歳）：問 32、就学児童（小学校1年生～6年生）：問 24〕

お住まいの地域の子どもの遊び場について日ごろ感じることは何ですか。

住まいの地域の子どもの遊び場について日ごろ感じることは、就学前児童では「雨の日に遊べる場所がない」が最も多く 76.1%、次いで「公園など遊び場のトイレやおむつ替えや親子での利用に配慮されていない」が 43.7%、「遊具などの種類が充実していない」が 39.1%、就学児童では「雨の日に遊べる場所がない」が最も多く 73.4%、次いで「近くに遊び場がない」が 40.7%、「遊具などの種類が充実していない」が 35.5%となっています。



【前回】

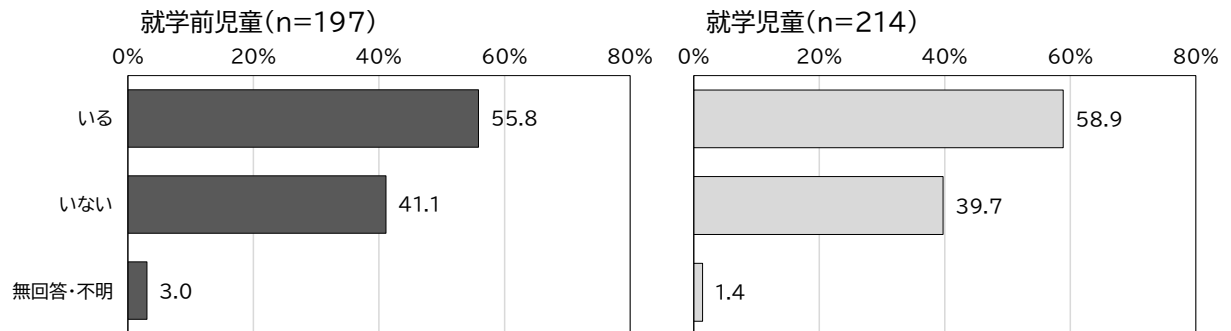


6 子育てに対する意識について

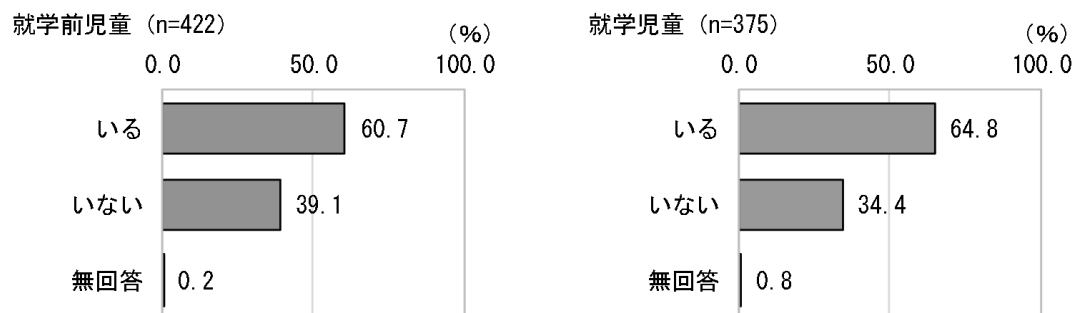
〔就学前児童（0～5歳）：問 33、就学児童（小学校1年生～6年生）：問 25〕

近所（お住まいの近く）で日常的にちょっとした子どもの話や世間話をする人はいますか。

近所で日常的にちょっとした子どもの話や世間話をする人がいるかについては、就学前児童では「いる」が 55.8%、「いない」が 41.1%、就学児童では「いる」が 58.9%、「いない」が 39.7%となっています。



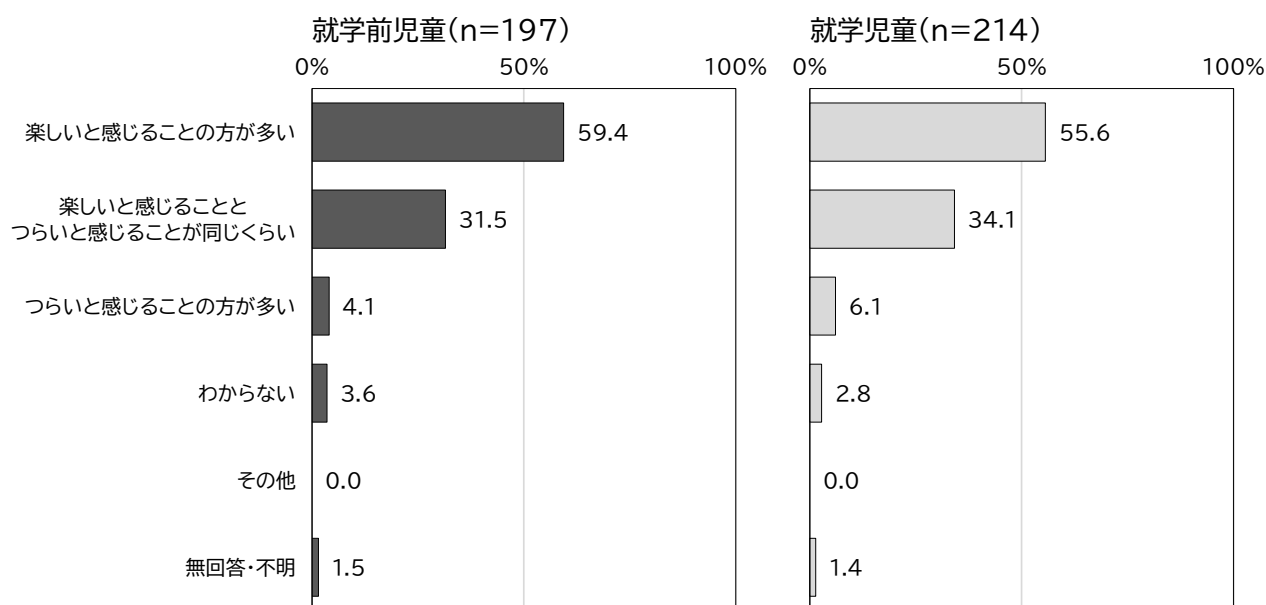
【前回】



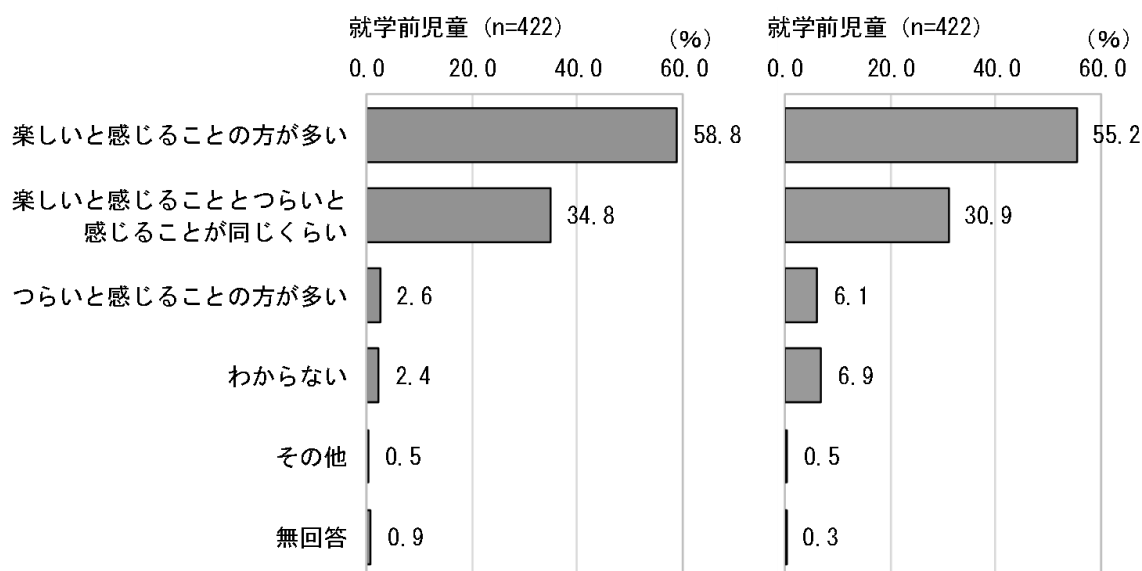
〔就学前児童（0～5歳）：問 34、就学児童（小学校1年生～6年生）：問 26〕

ご自身にとって子育てを楽しいと感じることが多いと思いますか。それともつらいと感じることが多いと思いますか。

子育てを楽しいと感じることが多いか、それともつらいと感じることが多いかについては、就学前児童では「楽しいと感じることの方が多い」が最も多く 59.4%、次いで「楽しいと感じることとつらいと感じることが同じくらい」が 31.5%、「つらいと感じることの方が多い」が 4.1%、就学児童では「楽しいと感じることの方が多い」が最も多く 55.6%、次いで「楽しいと感じることとつらいと感じることが同じくらい」が 34.1%、「つらいと感じることの方が多い」が 6.1%となっています。



【前回】

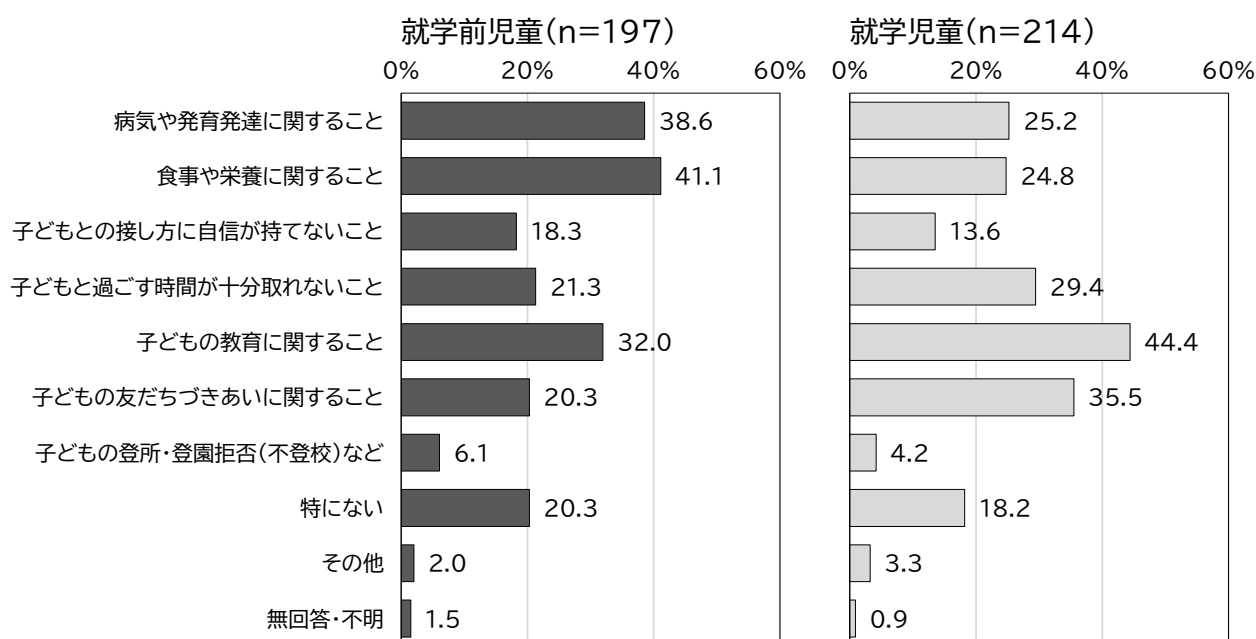


[就学前児童（0～5歳）：問 35、就学児童（小学校1年生～6年生）：問 27]

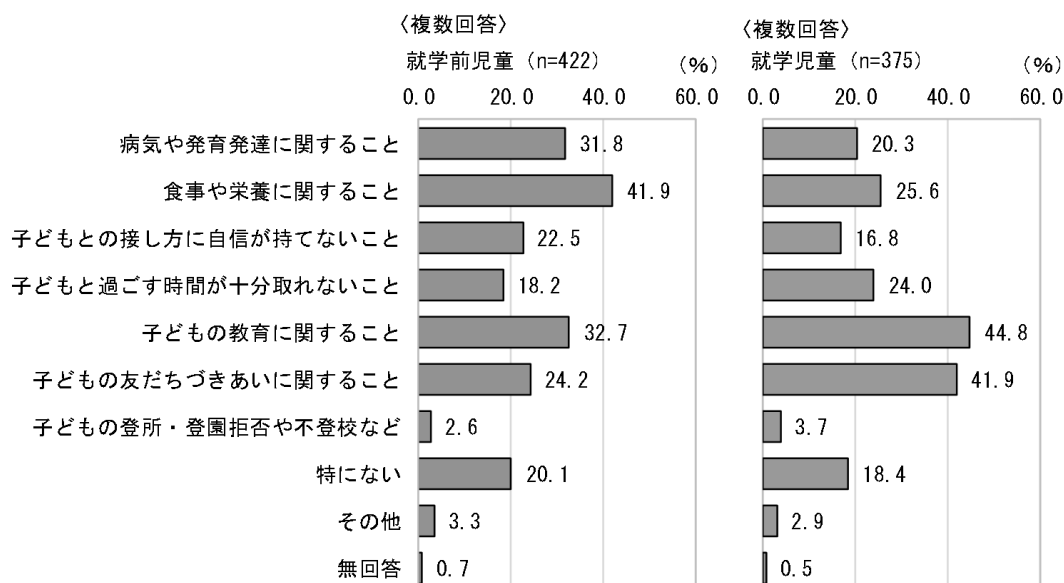
子育てに関して、日常悩んでいること、あるいは気になることは何ですか。

（１）子どもに関すること

子どもに関することで、日常悩んでいること、あるいは気になることは、就学前児童では「食事や栄養に関すること」が最も多く 41.1%、次いで「病気や発育発達に関すること」が 38.6%、「子どもの教育に関すること」が 32.0%、就学児童では「子どもの教育に関すること」が最も多く 44.4%、次いで「子どもの友だちづきあいに関すること」が 35.5%、「子どもと過ごす時間が十分とれないことが 29.4%となっています。

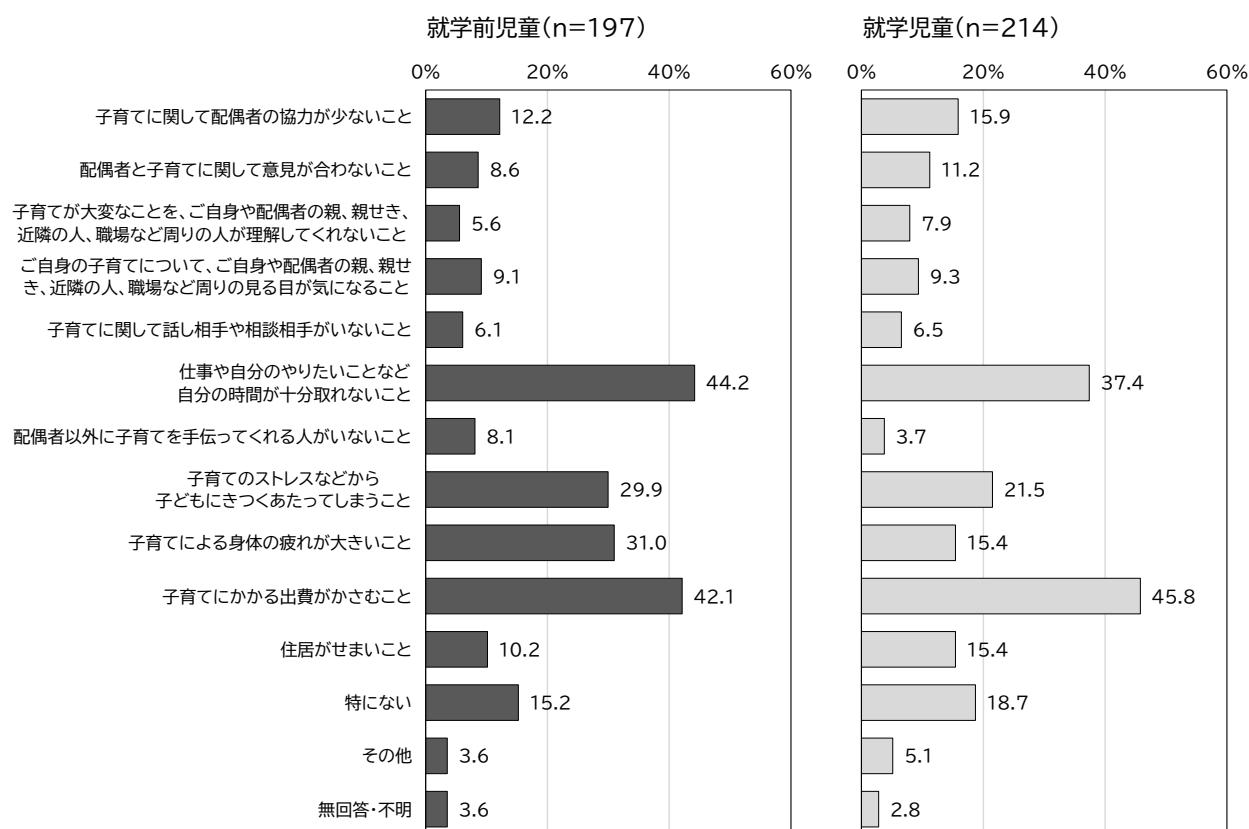


【前回】

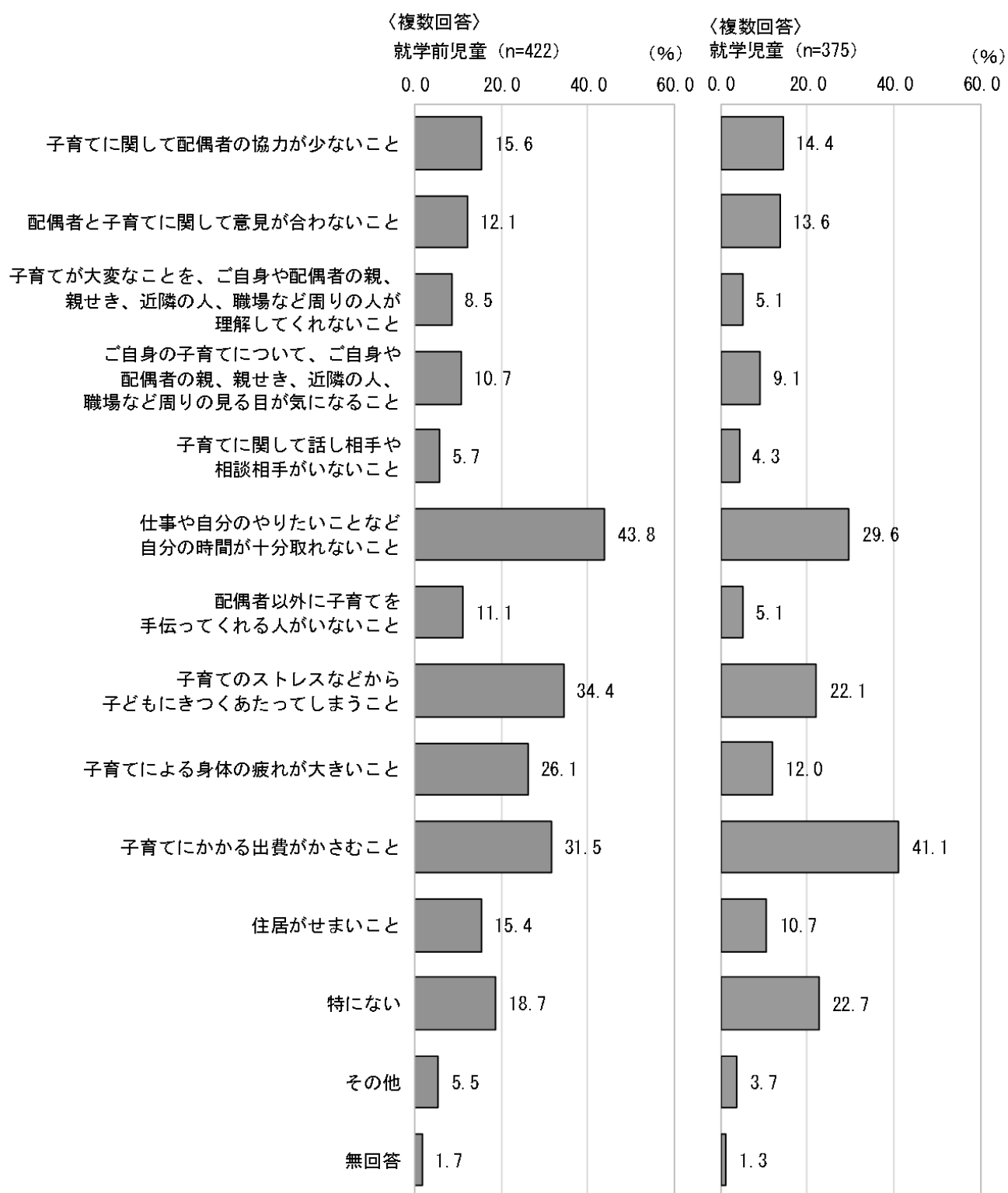


（２）ご自身に関すること

自分に関することで、日常悩んでいること、あるいは気になることは、就学前児童では「仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと」が最も多く 44.2%、次いで「子育てにかかる出費がかさむこと」が 42.1%、「子育てによる身体の疲れが大きいこと」が 31.0%、就学児童では「子育てにかかる出費がかさむこと」が最も多く 45.8%、次いで「仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと」が 37.4%、「子育てのストレスなどから子どもにきつくあたってしまうこと」が 21.5% となっています。



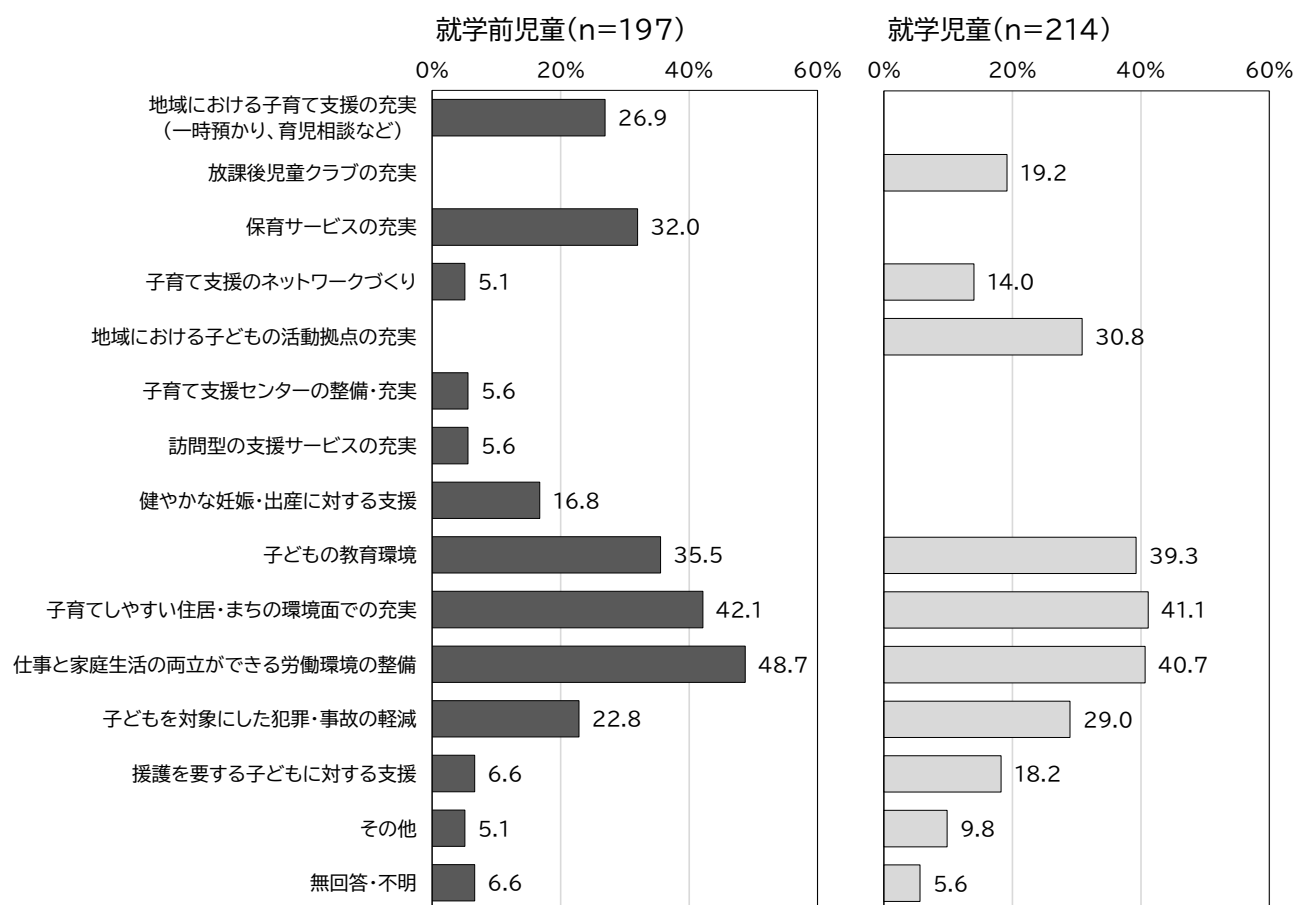
【前回】



〔就学前児童（0～5歳）：問 36、就学児童（小学校1年生～6年生）：問 28〕

ご自身にとって、子育てをする中でどのような支援・対策が有効と感じていますか。

自分にとって、子育てをする中で有効と感じている支援・対策は、就学前児童では「仕事と家庭生活の両立ができる労働環境の整備」が最も多く 48.7%、次いで「子育てしやすい住居・まちの環境面での充実」が 42.1%、「子どもの教育環境」が 35.5%、就学児童では「子育てしやすい住居・まちの環境面での充実」が最も多く 41.1%、次いで「仕事と家庭生活の両立ができる労働環境の整備」が 40.7%、「子どもの教育環境」が 39.3%となっています。



【前回】

〈複数回答〉

就学前児童（n=422）

地域における子育て支援の充実（一時預かり、育児相談など）

保育サービスの充実

子育て支援のネットワークづくり

子育て支援センターの整備・充実

訪問型の支援サービスの充実

健やかな妊娠・出産に対する支援

子どもの教育環境

子育てしやすい住居・まちの環境面での充実

仕事と家庭生活の両立ができる労働環境の整備

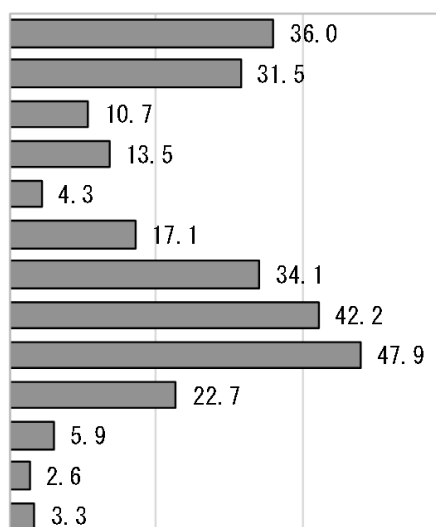
子どもを対象にした犯罪・事故の軽減

援護を要する子どもに対する支援

その他

無回答

0.0 20.0 40.0 60.0 (%)



〈複数回答〉

就学児童（n=375）

0.0 20.0 40.0 60.0 (%)

放課後児童クラブの充実

子育て支援のネットワークづくり

地域における子どもの活動拠点の充実

子どもの教育環境

子育てしやすい住居・まちの環境面での充実

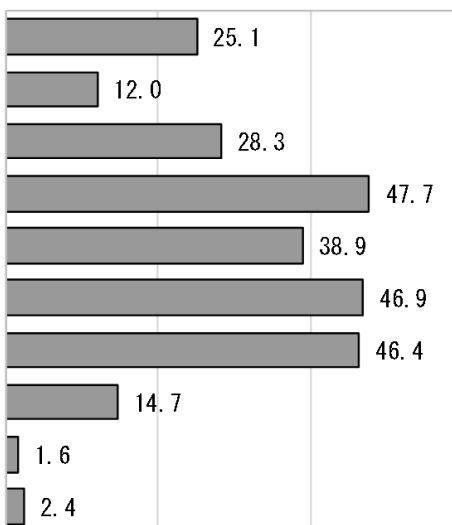
仕事と家庭生活の両立ができる労働環境の整備

子どもを対象にした犯罪・事故の軽減

援護を要する子どもに対する支援

その他

無回答

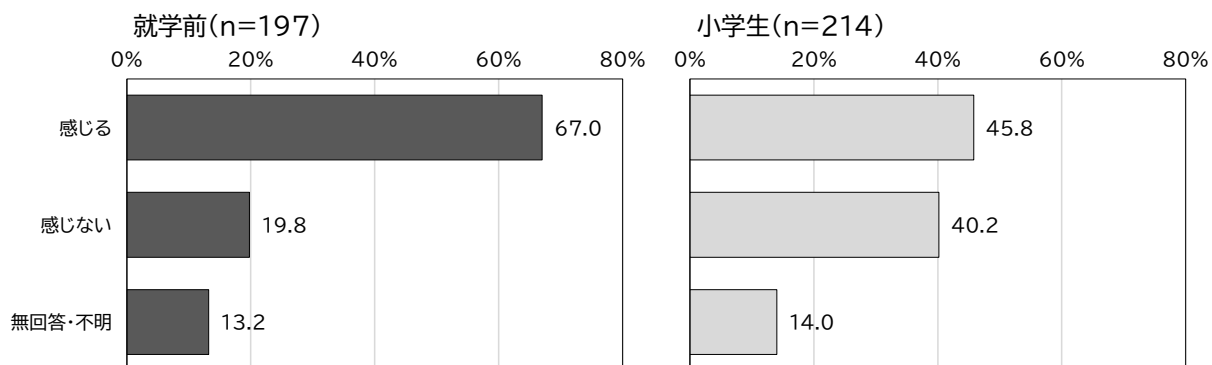


〔就学前児童（0～5歳）：問 37、就学児童（小学校1年生～6年生）：問 29〕

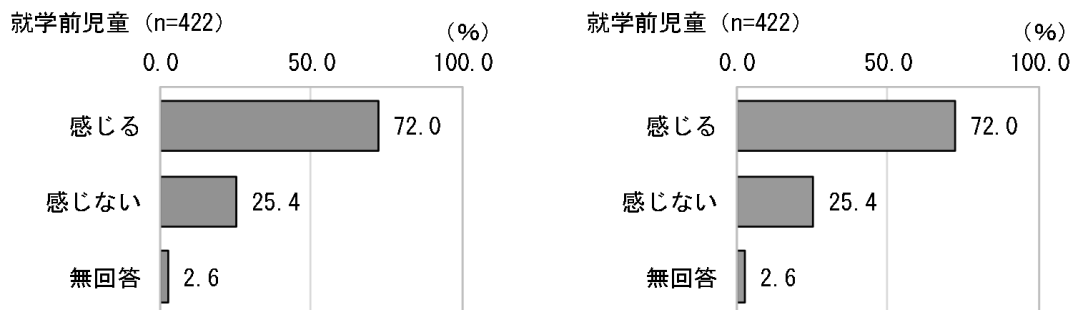
ご自身の子育てが、地域の人に支えられていると感じますか。

また、感じる場合は、特に誰から支えられていると感じますか。感じない場合は、特に誰から支えてほしいと感じますか。

自分の子育てが、地域の人に支えられていると感じるかについては、就学前児童では「感じる」が67.0%、「感じない」が19.8%、就学児童では「感じる」が45.8%、「感じない」が40.2%となっています。



【前回】

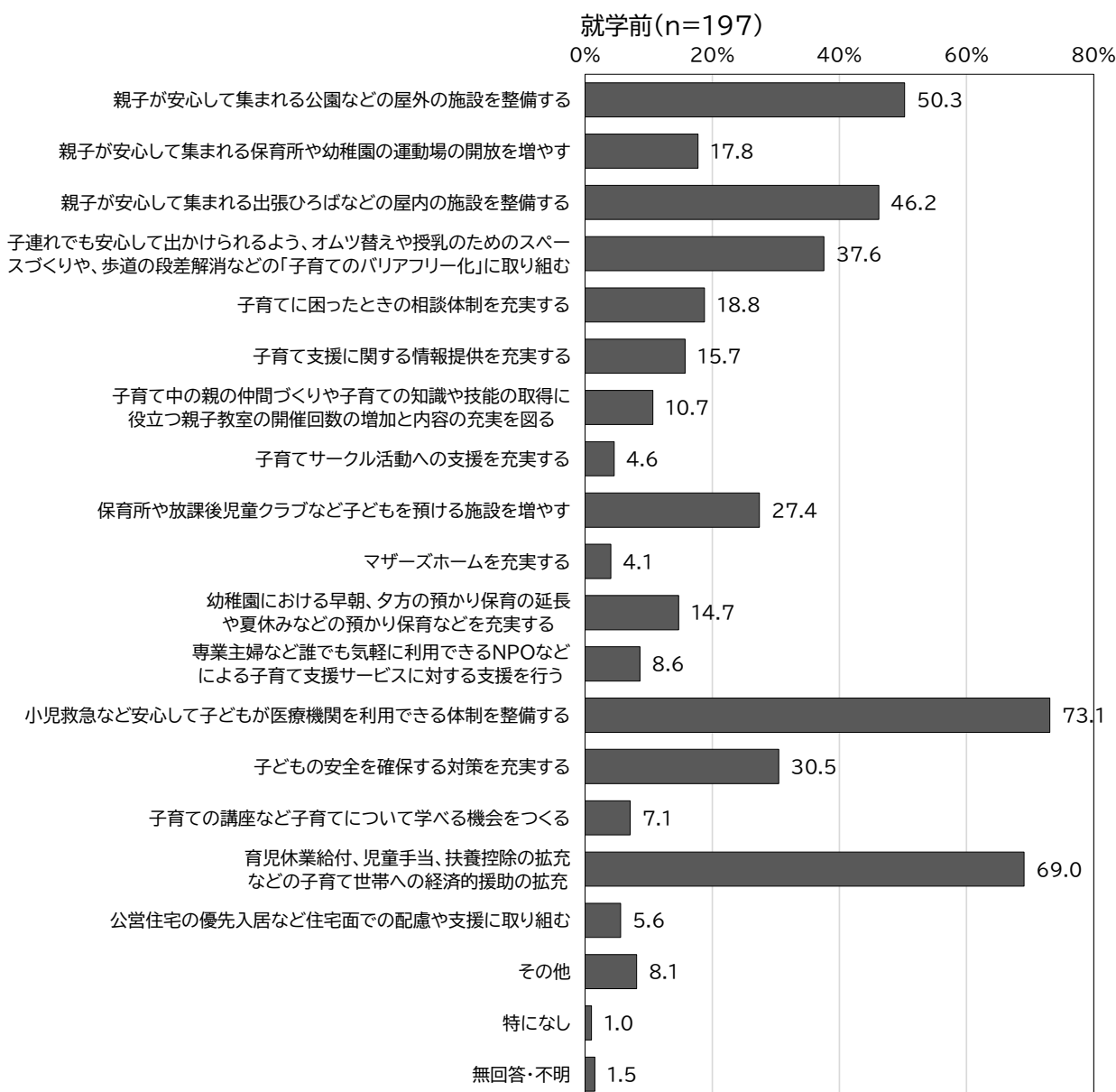


7 匝瑳市に対する要望について

〔就学前児童（0～5歳）：問38、就学児童（小学校1年生～6年生）：問30〕

匝瑳市に対して、あなたの子育て経験などから、どのような子育て支援サービスを充実してほしいですか。

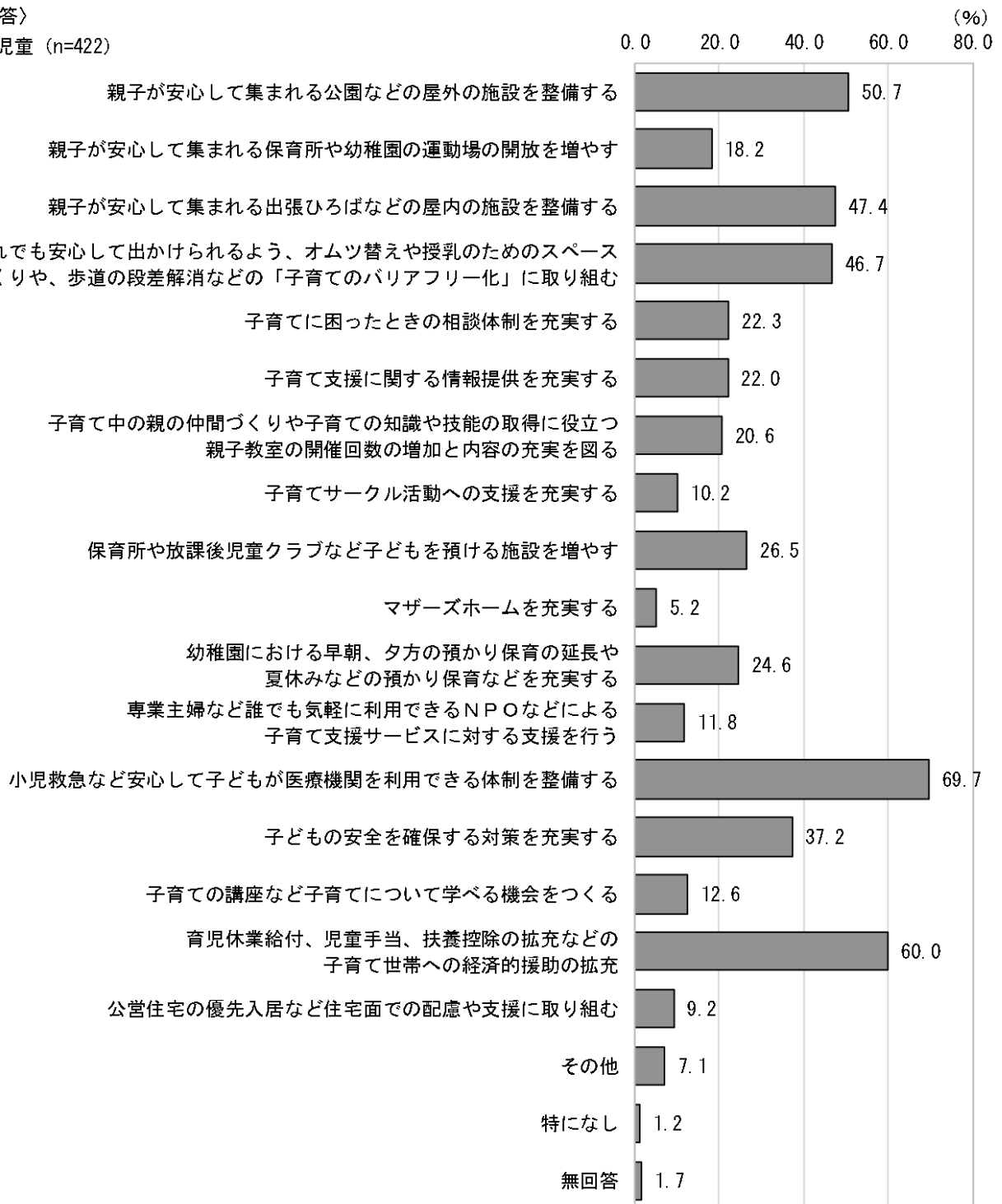
匝瑳市に対する要望は、就学前児童では「小児救急など安心して子どもが医療機関を利用できる体制を整備する」が最も多く 73.1%、次いで「育児休業給付、児童手当、扶養控除の拡充などの子育て世帯への経済的援助の拡充」が 69.0%、「親子が安心して集まれる公園などの屋外の施設を整備する」が 50.3%となっています。



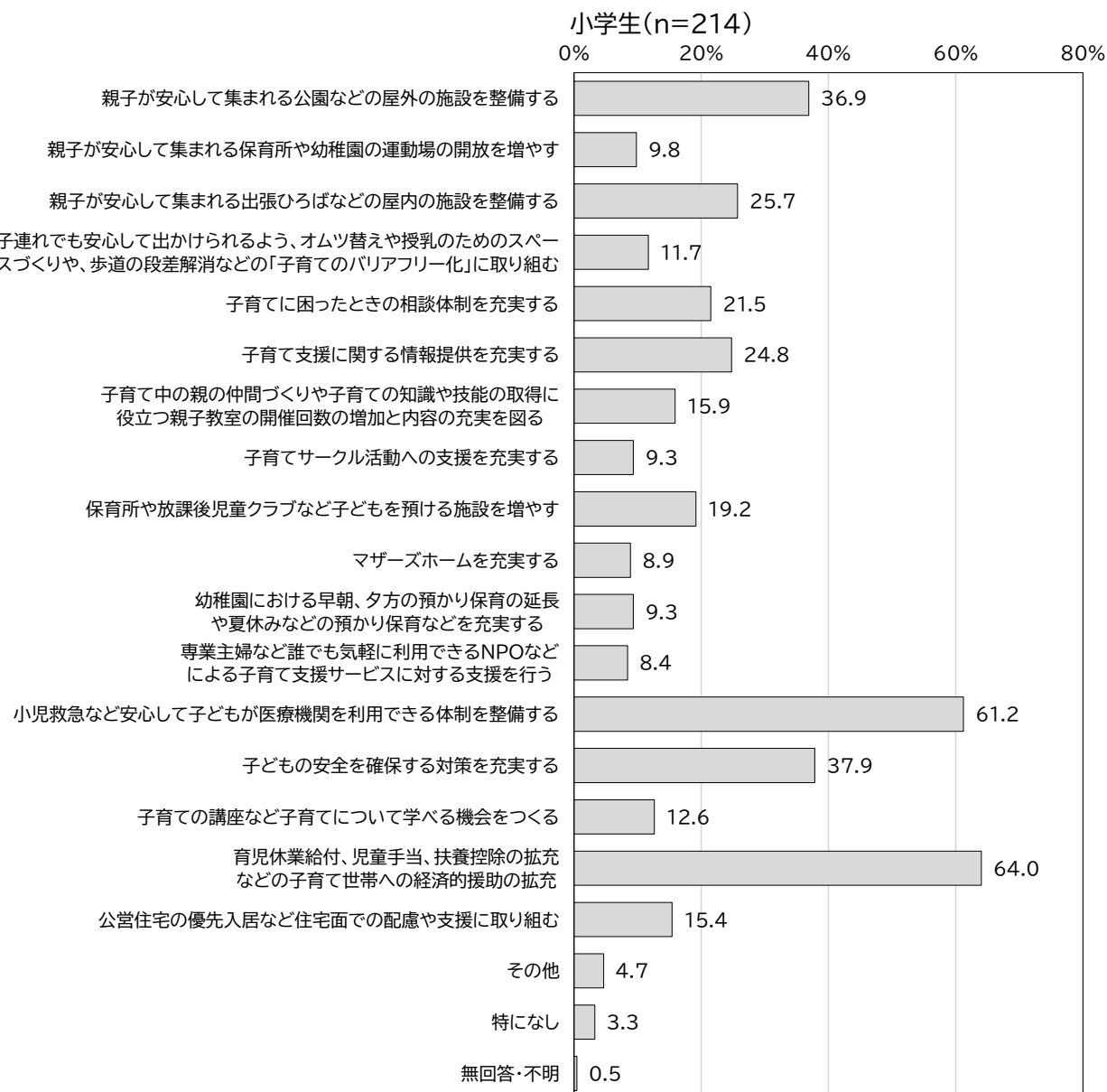
【前回】

〈複数回答〉

就学前児童（n=422）



また、就学児童では「育児休業給付、児童手当、扶養控除の拡充などの子育て世帯への経済的援助の拡充」が最も多く 64.0%、次いで「小児救急など安心して子どもが医療機関を利用できる体制を整備する」が 61.2%、「子どもの安全を確保する対策を充実する」が 37.9%となっています。



【前回】

〈複数回答〉

就学児童（n=375）

(%)

0.0 20.0 40.0 60.0 80.0

